

第24期 事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

1 事業の成果

「つなぐ、つなげる、つながる」、「人と場所につながってさえいればなんとかなる！」をキーワードとして、すべての事業の活動に取り組んだ1年だった。コロナ禍のマスク生活により、相手の顔を認識することなく、学校では先生や友達との距離を取ることを強いられた3年間だった。この状況が子どもたち、若者たちに及ぼした影響はとて大きく、相手の表情を読み取ることが出来ない対人支援の現場での難しさも突き付けられた。それでも私たちは、どんな状況であっても「おもしろいをあきらめない」で感染対策をした上で知恵と工夫を持って必要な感染対策を実施しつつ、出来る限り、リアルのかかわりを増やせるように意識し、法人が主催の会議やプログラム、イベントなどでは、直接参加できるように取り組んだ。(夏休み期間には、子どもたちや若者と親も参加のキャンプも実施) コロナ禍以降、不登校の問題が低年齢化し、10代の保護者からの相談が増えたこともあり、学校、医療関係者、支援機関との連携にもさらに力を入れた。今年度が最後となった金沢区寄り添い型学習支援事業いろは塾では、かかわった生徒たちが、しっかりと次の学習支援事業につながるためのサポートをし、高校生年齢の生徒には、南部ユースプラザへの繋ぎにも力を入れた。学校を離れてもいつでも困った時に相談できる場所があることを伝え、どこかにつながっていること、孤立しないために相談する力をつけることが大事なことを全ての事業所で関わる本人、保護者に伝えてきた。子ども食堂は、子どもたちが地域でつながることのできる居場所として地元の中学校の先生から在校生に限らず生徒をつないでもらった。今年度も引き続き、子育て期～学齢期～思春期～青年期までの途切れのない継続的な支援を目指して、一つ一つの事業に取り組んだ。

2 事業内容

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 子ども・若者とその保護者などに対する相談・支援

①不登校支援

- ・日常的に不登校の電話相談やメール相談の対応を行い、寄せられた相談について法人内のプログラムや他の支援機関の紹介や丁寧なつなぎや対応を行った。
- ・6月、9月、12月、3月には、無料の集中相談会を開催し、セミナーや個別相談をおこなった。
- ・横浜市教育委員会、南部学校教育事務所、地域の小学校・中学校・高校との連携を深め、義務教育の間に支援につなげることを意識して取り組んだ。
- ・神奈川県教育委員会主催の不登校相談会に参加し、団体紹介と個別相談の対応をおこなった。後日、来所にもつながった。

日時	月～金 9:00～18:00
場所	横浜市磯子区東町9-9 3階
主な従事者人員	2名
対象者	青少年および保護者、関係者

②よこはま南部ユースプラザ(なんぷら)

- ・相談窓口(電話、インターネット、来所)を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・よこはま南部ユースプラザとしても活動の年間テーマを今年度は、「チーム支援」～本気で

つながるためにできること～とした。支援者対象のなんぷら主催の南部地域若者支援連絡会では、コロナ禍以降、若い世代の不登校、ひきこもりが増えていること、学校との連携ケースも増え、在学中はもちろん、学校を離れたあともどこにどんな地域資源があり、活用できるのかを共有することを目的とした。また南部地域の各区で年に1回行うセミナーにおいても同テーマで、支援者だけでなくご家族もまた本人の支援のためにチームの一員としての役割を持っていただきたいということ、本人も家族も孤立を長期化させないために今からできることを一緒に考えたいということをお伝えした。

- ・南部地域の区役所専門相談で区のこども家庭支援課、生活支援課との連携を行った。戸塚区での相談は窓口である生活支援課からの相談も多く、当事者をつなげる前にまず担当職員が相談するという形が定着してきた。次年度は他の区も支援者からの相談を積極的に行っていきたい。そのためにも改めて周知と関係づくりを行っていく。
- ・例年通り居場所は月曜～金曜 11時～19時まで開所。179名の登録があった。昨年と同様10代～20代半ばのメンバーの利用が多くあった。プログラムも充実させ昨年に引き続きオンラインのプログラムも取り入れた。コロナが落ち着いてきたこともあり、オンラインでの参加者は昨年より少なくなったが、今後もオンラインのプログラムは継続する予定。

講座・クラブ活動：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・スタートアッププログラム（オンライン）・無電源系ゲーム・なんぷらアフタヌーンティー・ちがいを楽しむかんたんアート・健康管理について・自分取り扱い講座・UVレジン・横浜美術館プログラム・wii大会・大人の塗り絵・羊毛フェルト・映画観賞会・福祉サービススタディツアー・折り紙講座・クラフト講座・ちょこボラ・サポステってどんどこ？・クレイフラワー講座・ミラクルイングリッシュ（オンライン）・カードゲームクラブ・ボッチャ大会・なんぷら情報局発信DAY・インターネット被害未然防止講座

- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラムの実施。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくり
年間テーマ「チーム支援」～本気でつながるためにできること～

＊南部地域若者支援連絡会（年2回）：

2022年6月29日（水）31団体40名（ハイブリッド）

2023年3月23日（木）25団体32名（来所）

＊地域ユースプラザ施設長会議：年4回参加

＊三機関連絡会：年2回参加（うち1回は書面開催）

＊なんぷら保護者交流会：毎月第4土曜日開催 年間参加者延べ88名

- ・区役所における引きこもり等の専門相談、セミナー&相談会

＊専門相談 港南区2件、磯子区4件、金沢区7件、戸塚区40件、栄区5件

＊区役所セミナー&相談会：

11月29日（火）	港南区	来場者	10名
10月20日（木）	戸塚区	来場者	14名
11月2日（水）	金沢区	来場者	8名
11月16日（水）	磯子区	来場者	8名
12月13日（火）	栄区	来場者	9名

開所時間 月曜日～金曜日 11:00～19:00（居場所・相談室）
土曜日 11:00～19:00（相談室のみ）

場 所 横浜市磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2階

主な従事者人員 9名

対象者 横浜市内にお住まいのおおむね15歳～40歳未満の若者およびその家族

開所日数 278日

来所者数 のべ5,876名
相談実績 面接相談 のべ968件・電話相談 のべ740件・
インターネット相談 のべ116件
社会／就労体験事業参加者 のべ3,432名

- ・戸塚高校定時制学校運営協議会に参加。計3回。
- ・横浜明朋高校職員研修 11月28日（月）

③金沢区寄り添い型学習支援事業（横浜いろは塾）

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ中学生・高校生世代に対して、学習支援・総合的な支援を実施。
- ・高校生世代支援は、学習支援の一部として高校に行っていない子ども対象に加わり、進路選択につながるものや将来の自立につながる内容の講座の開催を全4回行った。また、リラックスして過ごしたり、タブレットの活用等を学べる居場所を毎週金曜日に開所。
- ・対象は生活保護を受けている家庭や生活困窮世帯の子どもに加え、**不登校生徒等、事情のある子どもたちも継続して受け入れた。**そのため、金沢区生活支援課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための情報共有を行い、必要であればケースカンファも実施しながら一人一人に丁寧な支援を行った。
- ・富岡東地域ケアプラザで「出張いろは塾」を開催。毎週火曜日に学習支援を行った。
- ・中学3年生には「神奈川県全県模試」が受けられる**模試サポート**を8月と12月の2回開催した。各会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・中学2年生対象の「神奈川県全県模試」が受けられる模試サポートを12月に開催した。中学3年生同様、会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・登録している中学3年生は全員高校進学が決まった。また、不登校でサポートしていた生徒も希望する高校へ合格し、進学することができた。
- ・中学時代に不登校でサポートしていたそれぞれ進級できた。定期的なメンタル・学習サポートを行い、1年間通してほとんど遅刻欠席なく通うことができた。また、高校を卒業後もサポートが必要なメンバーや、必要な専門機関へのつなぎも行った。他にも、高校へ進学はできたが、友人関係や学習面で悩んだり、つまづく生徒も多く、高校受験に合格した後も個々のニーズに合わせ、途切れなくサポートを行った。
- ・必要な生徒の**保護者へは定期的に連絡し状況確認**等を行った。また、生徒本人宛へ手紙やはがきを毎月送りサポートを行った。
- ・今期で事業を引き継ぐため、不登校や高校卒業後もサポートが必要な子たちは、区役所と連携しながら、カナカツやよこはま南部ユースプラザ等、必要な機関へ丁寧なつなぎを行った。

- ・金沢区寄り添い型事業定例会議（全3回）

2022年5月10日、9月8日、2023年1月12日

- ・利用者連絡会（ケースカンファレンス／区・いろは塾）（全2回）

2022年9月8日、2023年1月12日

場所 横浜市金沢区谷津町359-2階
日時 水・金 16:00～20:00
土曜日 14:00～18:00

（出張いろは塾 富岡東地域ケアプラザ 火曜日 16:00～20:00）

主な従事者人員 5名

対象者	養育環境に課題があり、支援を必要とする 中学生・高校生世代およびその保護者
開所日数	198日（2022年4月～2023年3月）
登録者数	85名
参加人数	のべ 1,658名

(3) こども・若者の自立に関する情報提供

①団体の活動の情報発信

- ・団体の活動を内容を広く知ってもらうため、ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。

日時	ホームページの更新は随時
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、 地域の関係機関・関係団体など

(4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場として運営をおこなった。
- ・感染予防対策を行いながら、いつでも来やすい広場作りを心掛けた。
- ・親のリフレッシュや用事、きょうだい児の行事、仕事の際に利用できる一時預かりを引き続き実施。新型コロナウイルスが落ち着き始め、来年度から仕事復帰・保育園を希望される方を中心に、後半登録数が伸びた。必要な方が安心して預けられる場所の提供は継続してできている。また、子どもを預かるだけでなく、子どもの成長や家庭内の悩みについて相談できる場にもなっていた。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティアとして活躍していた。
- ・活動の様子や今後の予定をホームページ・ブログ・SNS から情報発信を行った。特にInstagram で情報を得ている方が多い印象だった。
- ・幼稚園・保育園座談会を年3回行い、情報収集ができる場の提供をおこなった。磯子区の保育・教育コンシェルジュの方にも来ていただいた。1回は、オンライン（zoom）でも参加できるようにして、家や外出先からもコンシェルジュの話などを聞くことができよかつたとの話も出た。先輩ママによる幼稚園座談会も3回開催し、経験談を聞く機会も作った。
- ・パパの来所も増えていて、年3回父親育児支援講座も行った。7月は9組、9月は9組、11月は7組の参加があった。
- ・同じフロアのぽによ+の小学生が乳幼児の面倒を見たり、夏には広場でのイベント「お話し会」でペーパーサートや絵本の読み聞かせを担当してくれ、遊びに来ていた親子との交流も持てた。小学生の姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができていた。ぽによ+との交流が、親子にとって発見や学びの場になっていた。
- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との「いそごひろば連絡会」を定期的で開催し、内1回は、研修会として保健師から健診の流れについて話を聞くことができ、つどいの広場のブロック会議でも、1回は研修会で子育て支援者の公演があり、日頃の親子対応や運営に活かすことができた。

- ・要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議）に今年度も参加。年2回の開催で、関係機関とロールプレイや地域での連携の大切さ、必要な場所へつなげていくことが大切なことも学ぶことができた。
- ・地域で気になる親子については、磯子区の保健師だけでなく、中区の保健師とも情報共有など連携を行った。親子が遊びに行ける場所として区が繋いでくれるケースもあった。

日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00
 場所 横浜市磯子区東町9-9
 主な従事者人数 4名
 開所日数 223日
 来所者数 1,749組3,699名（一日平均7.8組16.6名）
 一時預かり利用数 141件 計455時間（月平均11.8件 37.9時間）

連絡会 いそごひろば連絡会 全4回 2022年5月11日（水） ・8月3日（水）
 2022年11月2日（水）・2023年2月1日（水）
根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 2022年6月29日（水）
 2022年10月17日（月）※公園で遊ぼうイベント
Cブロック会議 全3回 2022年6月15日（水）・11月16日（水）※研修会
 2023年2月15日（水）
広場全体連絡会 全2回 2022年7月8日（金）
 2023年3月6日（月）※zoom開催
一時預かり情報交換会 2022年12月8日（木）
要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議） 2022年10月28日（金）
 2023年1月27日（金）

②プレ教室ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。スムーズに幼稚園や保育園に移行できることを目的に、「こどもだけで活動する経験」や「家庭ではできない体験」を意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
 - ・感染予防対策を行いながら全30回行うことができた。
 - ・にこまるソーシャルファームで、じゃがいも掘り体験も行った。また、11月には同じ場所でのさつまいも掘りイベントに参加し、ぽにょ+の親子や若者支援の家族の会メンバーとの交流もできた。
 - ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、2回の保護者座談会、自宅から参加のzoomでのオンライン交流会・座談会を実施し、交流の場を作った。保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、トイレトレーニングや友達との関係など、具体的な悩みについて話し合う場にもなっていた。また、ぽっかぽかでの普段の活動の様子も動画や写真で伝え、子どもたち同士の関わりや成長を見てもらうことができた。法人の活動（乳幼児～青年期の途切れのない支援）についても話して、子どもに必要な環境を作ってあげること、保護者が一人で抱え込まないことの重要性、保護者がつながることで子どもを孤立させないことも伝えた。
 - ・発達の気になる子には、子どものサポートだけではなく、様子を毎回伝えたり、母親の不安を聞くなど保護者のサポートを丁寧に行った。関係機関との情報共有も行った。
 - ・保護者からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、親から離れて同年齢の子ども達同士で楽しむ経験ができたこと、ぽっかぽかを楽しみにするようになり成長を感じられたこと、保護者もみんなで育児をしていると感じられたこと、ぽっかぽかが保護者にとっても居場所になっていたことなど、参加してよかったという感想が多く聞かれた。
- 今年度も以前、上の子がぽっかぽかに参加した家庭の下のきょうだい児が3名参加した。

開催日時	木曜日 10:00～11:30 全 30 回
主な従事者人数	3 名
登録人数	12 名
参加人数（実績）のべ	320 名

(5) 地域の子どもの居場所の提供・運営

①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。令和4年3月29日より、現在の場所に移転し、新たな居場所作り、取り組みも模索しながらの1年となった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、1階フリースペース部分では駄菓子販売を行い、子ども達が居心地良く過ごせる場を提供した。感染対策をしながら少人数ずつで、ものづくり講座・カナカツイベントへの参加の促しも行い、体験の場の入り口としても機能した。また、週1回2階を自習室として開放し、中高生世代が落ち着いた静かな環境で学習できる環境も整えた。
- ・フリースペースに来所する子ども達も一緒にイベントの準備をし、当日の運営も行った。すずらん通り商店街や地域の関係団体と共に地域の子どもの達を見守る体制を整えることができた。
- ・**保護者対象の思春期セミナー**（参加者20名）をオンラインで開催。講師に岩室紳也氏をお招きし、「思春期のこころと性～コロナ禍の心の後遺症を考える」をテーマにお話いただいた。
- ・社会参加プログラム「中高生ボランティア体験（中高生のべ165名）」「第7回カナカツ美術展（参加者173名）」では近隣の中高生が多く参加してくれた。ボランティア体験では、毎月ボランティアDAYを設け、近隣の施設へ中高生手作りの作品をお届けした。また、3年ぶりに開催された金沢区民まつり「いきいきフェスタ」に参加し、出張カナカツ縁日の運営を中高生ボランティア中心に運営・出店できた。美術展では、オンラインを活用し、高校生による運営会議・ワークショップを開催。昨年度に続き、どちらも感染対策をしながらの開催となったが、前日の会場設営には、運営委員の高校生が中心となって集まり準備を進めることが出来た。
- ・イベントでは秋まつり（参加者147名）において、交際交流ラウンジや親と子のつどいの広場ふきのとうと連携し、協同企画を行うことができた。感染対策のため、展示期間を長く設置して少人数ずつ鑑賞できるよう実施した。
- ・上半期は、新型コロナウイルスの影響で例年参加している地域のイベントが中止となる等した為、小学生から高校生まで広い世代が安心して利用できるよう、感染対策をしながら少人数制で、スポーツデイ・自習室・ものづくりワークショップ等も開催した。下半期は、少しずつ地域のイベントが再開し、感染対策をしながら参加できた。
- ・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、小中校長会・民児協での企画案内・南部地域若者支援連絡会への出席も行った。年度を追うごとに学校関係等地域資源からの連携の体制が得られるようになっていく。

日時	火曜日・木曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～18:00
場所	横浜市金沢区谷津町359（すずらん通り商店街内）	
主な従事者人員	3 名	
対象者	地域の中高生世代	

開所日数 146日
利用人数 3,287名（青少年2,662名・大人625名）

②磯子区青少年地域活動拠点 イソカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場やさまざまな体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・フリースペースでは居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。また、地域の方をボランティア、講師に招き、フリースペースでものづくり講座などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・イソカツ運営委員会（中高生世代メンバー主体の会）では、縁日開催に向けて準備・運営や1月に開催した**第5回イソカツ美術展**の準備を行った。（77名参加）
- ・毎年、開催しているイソカツ美術展は、昨年度に続き根岸駅前モンビル6階にて開催。中高生世代の作品が138点集まり、美術展最終日には、版画ワークショップも開催できた。（251名来場）
- ・岡村のにこまるソーシャルファームでの農業体験を実施。6月はじゃがいも掘り、10月はさつまいも掘りを体験した。土に触れる体験はそれぞれに思い出深い体験となったようだ。
- ・3年ぶりに開催された磯子まつり（区民まつり）やいそごこどもまつりでは、中高生世代が中心となり縁日の出店を行った。準備から当日の運営・片づけまで、みんなで協力しながら進めることが出来、充実した活動になっていた。
- ・夏休みや春休み期間中を活用し、中高生のボランティア体験（のべ106名参加）を実施した。子育てスポットくすくす、放課後ドラマぼによ+での体験では、小さな子達やスタッフとの交流の中で、保育やイベント補助などを体験することができた。また、直接、施設での体験ができる場が少なかったため、イソカツで作ったものを届けるボランティアを実施した。子育て広場の装飾づくりやケアプラザから高齢者宅に配達されるお弁当につけるメッセージカードや折り紙を作り、受け取った先の施設からはとても喜ばれていた。
- ・多世代交流イベントでは、新たに洋光台のCCラボ、磯子区社会教育コーナー、根岸アートルミエールと連携し、中高生世代が中心となって企画・運営するものづくりイベントを行った。
- ・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の支援者を対象にイソカツ思春期セミナーをオンラインで開催した。講師の宮崎豊久氏に「SNS世代の子どもたちを理解しよう～向きあい方のヒント～」をテーマにお話していただき、自分自身の子育てを振り返る機会となったとまたこのようなセミナーを開催してほしいという感想が多く寄せられた。（33名参加）
- ・近隣の中学校や高等学校に訪問し、校長会や専任会、青少年指導員、民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、磯子区館長連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。

日時 火曜日・木曜日 15:00～20:00
土曜日 13:00～18:00
場所 横浜市磯子区磯子3丁目4番地23号 浜田ビル2階
主な従事者人員 3名
対象者 地域の中高生世代、地域の人たち
開所日数 146日（フリースペース開所・活動日）
参加者 青少年計 3,795人（全体 4,151人）

(6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

①放課後ドラマ ぼによ+

- ・自主事業として「おもしろい子（個）を育てる」をテーマに、安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜

くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。

- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた
- ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
- ・今年度よりじゃがいも掘りや、夏休みの宿泊イベントなど、コロナ禍で実施を見送っていたイベントを約3年ぶりに再開することが出来た。
特に虫キャンプin矢祭3rdでは、想定していた倍の人数が参加し、30名の子どもたちに久しぶりの夏休みらしいイベントを提供することが出来た。
- ・今回の虫キャンプや、卓球クラブ合宿などでは、保護者への情報共有をSLACKを活用することで、リアルタイムに写真や動画を楽しんで貰えるように工夫した。
- ・保護者会もできるだけ実際に集まってのリアル開催を実施。久しぶりに保護者会後の交流会も実施することが出来た。
- ・リアルで会うことの重要性は大切にしつつ、この数年で進めてきた様々なオンラインツールの活用は場面に応じて使い分けた。
- ・年度の後半には食事やおやつなどもパーティションを撤去して全員そろって食べることを再開。3月のぽによ修了式、「きらきらぽによパーティー」では久しぶりに一同そろって飲食をともにし、卒業生を送り出す素敵な会を実施することが出来た。

日時	終日（必要に応じて対応）
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、他
主な従事者人員	6名
対象者	横浜市内の年中児～小学生
開所日数	290日
登録人数	83名
登所人数	のべ8297名
ぽによ塾	ピアノ 登録14名・のべ462名（66回実施） 英会話 登録9名・のべ270名（98回実施） 卓球 登録14名・のべ497名（80回実施） ロボット・プログラミング登録14名 のべ462名（99回実施） 登録児童の所属学校 根岸小 60名・間門小 7名・杉田小 2名・浜小 3名 立野小 1名・国大附属小 2名・滝頭小 4名・ 山王台小 2名・磯子小 2名・港南台ひの特別支援学校 1名

<2022年度 主な行事> *大きな行事や行政との連携を中心に記載

2022年

- 4月 1日（金） K2春のスタートデー（入社式・ぽによ+入会式）
- 4月 6日（水） 磯子区館長連絡会 参加
- 4月14日（木） 戸塚高等学校定時制2年、3年合同ガイダンス（事業説明）
- 4月21日（木） 社会教育コーナー 訪問
- 5月10日（火） 金沢区寄り添い型学習支援連絡会
- 5月19日（木） はっちネット定例会 出席
- 5月19日（木） 富岡地域ケアプラザ 訪問
- 5月28日（土） ぽによ+夏休み説明会
- 5月21日（土） 鎌倉市保護者セミナー（湘南横浜サポートステーション）講師
- 6月 1日（水） 磯子区館長連絡会 出席

6月 4日 (土) ファーム じゃがいも掘りイベント
 6月17日 (金) 戸塚高校定時制学校運営協議会 出席
 6月20日 (月) 自立支援協議会代表者会 (WEB 会議) 出席
 6月22日 (水) 磯子区スイッチ ON 推進会議 出席
 6月22日 (水) なんぷら経理ヒアリング
 6月29日 (水) 第1回南部地域若者支援連絡会 開催
 7月 5日 (火) 市電保存館 訪問
 7月11日 (月) 甲南大学講義 講師
 7月13日 (水) 磯子区生活支援課セーフティネット会議 出席
 7月14日 (木) 根岸中学校 訪問
 7月20日 (水) 汐見台中学校 訪問
 磯子区 NPO 連絡会 出席
 7月21日 (木) はっちネット連絡会 出席
 7月26日 (火) 栄区生活支援課セーフティネット会議 出席
 7月27日 (水) 八景島シーパラダイス 遠足
 8月 6日 (土) 一般財団法人若者自立就労支援協会 出席
 8月19日 (金) 虫キャンプ in 矢祭 3rd (~21日 2泊3日)
 8月25日 (木) 磯子区中学校専任会の勉強会 (はっちネット) 出席
 8月26日 (金) 金沢区生活支援課セーフティネット会議 出席
 戸塚定時 R4 年度第2回学校運営協議会 出席
 9月 8日 (木) 金沢区寄り添い型学習支援連絡会
 9月14日 (水) 金沢区民生委員児童委員定例会 出席
 9月15日 (木) はっちネット事例検討会 出席
 9月22日 (木) 金沢区民児協主任児童委員連絡会研修 講師
 9月30日 (金) 金沢区地域ケアプラザ所長会議 出席
 10月 5日 (水) 磯子区館長連絡会 出席
 10月 6日 (木) 港南区専任会 出席
 10月20日 (木) 戸塚区セミナー開催
 10月24日 (月) 磯子区ケアプラ所長会議 出席
 10月27日 (木) なんぷら相談業務ヒアリング
 11月 2日 (水) 金沢区セミナー開催
 11月 5日 (土) さつまいも掘りイベント
 11月11日 (水) 栄区専任会 出席
 11月16日 (水) 磯子区セミナー開催
 11月17日 (木) はっちネット定例会 出席
 11月19日 (土) ぽによ+保護者会
 11月21日 (月) 金沢区生活支援課セーフティネット会議 出席
 11月24日 (木) アートルーム ルミエール 訪問
 11月26日 (土) ぽによ+入会説明会
 11月28日 (月) 神奈川県立横浜明朋高校職員研修 講師
 11月29日 (火) 港南区セミナー 開催
 11月30日 (月) こどもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
 12月 5日 (月) 氷取沢高校 訪問
 12月 7日 (水) 磯子区館長連絡会 出席
 12月 8日 (木) NPO 連絡会 出席
 汐見台中学校 訪問
 12月13日 (火) 横浜商業高校別科 訪問
 栄区セミナー 開催
 12月18日 (日) クリスマスフェスタ

- 1 2月19日（月）戸塚区生活支援課セーフティネット会議 出席
1 2月20日（火）神奈川県子ども・若者支援連絡会議（横浜・川崎地域ブロック） 出席

2023年

- 1月19日（木）磯子区生活支援課セーフティネット会議 出席
1月19日（木）はっちネット事例検討会 出席
1月26日（木）神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会 出席
2月 1日（水）磯子区館長連絡会 出席
2月 6日（月）栄区生活支援課セーフティネット会議 出席
2月 7日（火）磯子区ボランティア・市民活動関係分科会 出席
2月22日（水）磯子区NPO連絡会 出席
磯子地区スイッチON推進会議 出席
2月24日（金）戸塚定時学校運営協議会 出席
3月 3日（金）ぽによ+修了式「きらきらぽによパーティー」
いろは塾 高校生世代支援講座「
3月11日（土）ぽによ+保護者会、新入生歓迎会
3月23日（木）こどもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
3月23日（木）第2回南部地域若者支援連絡会 開催

<2022年度 助成実績>

- *横浜市地域ユースプラザ事業（よこはま南部ユースプラザ）
- *横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点（カナカツ）
- *横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 磯子区青少年の地域活動拠点（イソカツ）
- *横浜市親と子のつどいの広場事業（子育てスポットくすくす）
- *金沢区寄り添い型生活・学習支援事業（横浜いろは塾）
- *子どもの居場所づくり推進委託事業
- *磯子区ふれあい助成金
- *清水育英会 × 中央共同募金会助成金
- *ひきこもり等支援団体支援事業協力金
- *ドコモ市民活動助成事業助成金
- *神奈川県子ども食堂助成事業
- *一般財団法人若者自立就労支援協会助成金